

# Classroom Englishの活用

授業中の指示で用いられる  
Classroom English、どのように  
使っていますか？

まずは、できるところから・・・

「授業を全部英語で進めよう」とする必要はありません。まず、できるところから簡単な英語を使ってみることが、第一歩です。

何より、担任の先生が英語を使ってコミュニケーションをとるお手本を子どもたちに見せることが大切なのです。そのような先生の姿を見て、子どもたちは先生を目標とし、自らコミュニケーションをとろうとします。

全て英語で話そうとせず、“Good morning, class” や “Hello!” から始めてみてはいかがでしょうか？

きっと、子どもたちも自然に英語であいさつができるようになるでしょう。

## Classroom English でほめよう！

- ✓ Good Job!      よくできました。
- ✓ Great!/ Well done!/ Super!    すごい！
- ✓ Good try!      よく頑張りました。
- ✓ Close!        おしい！

## Classroom English の使い方

### 1. ジェスチャーや豊かな表情を・・・

最初は、ジェスチャーや顔の表情など、理解の助けとなるものと一緒に使用することで、子どもたちの理解力は大幅に変わります。

### 2. 繰り返して使用

「英語をたくさん聞かせることが大事」と言われますが、全く分からない英語をただ聞かせるだけでは、わからないままで終わってしまいます。次々に新しいフレーズを使うより、子どもたちが理解できるフレーズを繰り返し使うことが効果的です。

例)

- Good job,  
(名前)!! OOさん、よくできました！
- Please be quiet. 静かにしましょう。

### 3. ゆっくり、はっきり

最初は、意味を理解させるために、適切な声の大きさと、ゆっくり、はっきりと英語を話すように心がけてください。

### 4. あせらずに

分からない時に聞き返したり、何と言ったか、確認したりするのは自然なことです。「通じない」と焦らず、聞き返すようにします。

- 例)
- Slowly, please. ゆっくりお願いします。
  - Sorry? もう一度行ってください。



株式会社 ハートコーポレイション

## Heart News letter

## 効果的なALTの活用

外国語指導助手（ALT・AET）は、小学校や中学校・高等学校に児童・生徒の英語の発音や国際理解教育の向上を目的に配置されています。

授業の中で、児童・生徒に英語の音声や表現を慣れ親しませることもALTの重要な役割です。

しかし、ALTの活動は、決して学校の教科書を使った授業ではありません。ハートコーポレイションのALTは、各自の特性を生かし国際理解教育の向上の為、活躍しています。

## ALTの特技・個性を生かして

低学年や中学年の子どもたちには、外国語に慣れ親しみ、好きになってもらうため、CDプレーヤーではなく、ALT自らギターで、曲を弾きながら歌を歌い、ゲームやアクティビティを行っています。音楽を使うと、自然にリズムに乗り、英語に慣れることができます。

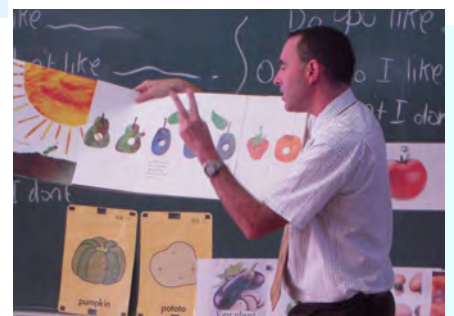


絵本の読み聞かせを授業に毎回取り入れています。絵本の文章を読むだけでなく、効果音やジェスチャーをたくさん取り入れたり、質問を子どもたちに問いかけたりして、子どもたちをひきつけます。子どもたちは身をのり出し、ALTによる読み聞かせを楽しんでいます。

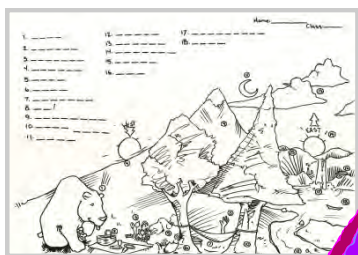


休みの日には、地域行事に参加し、地域の人たちとの交流を図っています。

『祭り』が盛んな地域には、学校に太鼓が置いてある学校もあります。ALTもその地域の祭りに参加し、常に新しい発見を楽しんでいます。



絵を描くことが、得意なALTは、世界に1つしかない手書きイラストの“手作りワークシート”を作り、選択授業等で使用しています。



## 株式会社ハートコーポレイション/ハート英会話スクール

〒310-0805 茨城県水戸市中央2-6-10

電話：029-226-8010 FAX: 029-233-3455

代表取締役 若林立美

業務内容：全国の自治体、教育委員会へ外国語指導助手配置  
企業研修、英会話スクール運営

## 株式会社ハートコーポレイション首都圏

業務内容：首都圏を中心とした教育委員会への外国語指導助手配置

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-8-1 903

電話：03-5665-2254 FAX: 03-5645-2264